

# 一般社団法人 全国動物教育協会 「動物看護学科担当教員向け講習会」

主催 一般社団法人 全国動物教育協会  
後援 一般社団法人 日本動物看護職協会 日時 平成24年8月9日

立秋を迎えてもなお連日猛暑の続く8月9日に、一般社団法人全国動物教育協会（以下、全動協）主催「動物看護学科担当教員向け講習会」が講師に石田卓夫氏を迎え開催された。当日は全国より27校64名の看護学科担当教職員が一同に会した。机上には当日の資料として、冊子とDVDが置かれていた。そしてそれには「本冊子及びDVD-R内のファイルは、学校の講義、授業で使用する範囲で自由に加工してご利用いただいて構いません」の文字。なんと、石田講師のデータを持ち帰り自分の授業に加工して使用できるのだ。これなら遠く沖縄からの参加者も満足だろう。講習は3部からの構成になっている。

- 講義1 伴侶動物獣医学の社会における役割・動物看護職の社会貢献
- 講義2 ホワイトボード、スライド、動画、各種メディアを利用した授業の進め方
- 講義3 モデル講義 「血液の検査」

「高位化協議会」の母体である全動協では、動物看護学科教員の皆に教師力向上をめざして頂く事を支援するためにこのような講習会を定期的で開催することにした。この講習会は全動協の会員のみならず「高位平準化協議会」に参加の養成教育機関はじめ全国の動物系教育機関の教職員も参加が出来る。講習の後コーヒーやお菓子を食しながらの茶話会形式の質疑応答や感想を述べる時間が持たれた。

【東京都N先生】私が感動したのは、授業をする上でまず学生に興味を持たせること、学生のレベルに合わせることで、そしてなによりも感動を与えて下さいと教えて戴いたことです。教育に携わる人間として肝に銘じて行きたいと思います。また、このような機会も長く継続していく事が重要だと思います。



【島根 U先生】毎年入学してくる学生の学力の差や行動力の差のどうやって授業を進めて行こうかと頭を悩ましていましたが、講義2の「授業の進め方」を学び、今後どうやって授業を組み立てて行こうかアイデアも浮かびました。本当に今日は有難うございました。

今日はたくさんの方にお集まりいただいて、そしてとても素晴らしい講演を聞くことが出来て満足です。次回は日程はまだ決まっていますが、近いうちに第二回を開催したいですね。と下園会長は満足そうに語っていた。